

音楽の友

ONGAKU NO TOMO

媒体資料

- 発売日: 毎月18日
- 判型: A4判変型
- 総ページ数: 約250ページ
- 別冊付録: コンサートガイド
- 発行部数: 10万部
- 創刊: 1941年12月
- 価格: 970円
- <http://www.ongakunotomo.co.jp/magazine/ongakunotomo/>



日本の音楽ファンとともに歩む『音楽の友』

『音楽の友』の創刊は1941年(昭和16年)12月のこと。戦時下の第1次雑誌統合により、『音楽之友』として誕生しました。日本の音楽雑誌としてはもっとも長寿を誇ります。2年後の第2次雑誌統合で、ほかの5誌とともに『音楽文化』『音楽知識』となり、戦争の激化によって、この2誌も一時期休刊に追い込まれました。しかし、終戦直後の1946年1月、音楽之友社の復旧と同時に『音楽之友』も復刊します。

誌名の表記が現在の『音楽の友』となったのは、1957年(昭和32年)1月号から。また、判型も当初のA5判からB5判を経て、1984年(昭和59年)1月号から、現在のA4変型判となっています。

創刊以来、『音楽の友』はつねに日本の音楽ファンとともに歩んできました。世界の音楽シーンの最新情報を紹介する一方、「カラヤン初来日」「NHKイタリア・オペラ」「ホロヴィッツ日本公演」「ブーニン・ブーム」など、日本の音楽史に残る、海外の演奏家や団体の日本公演のレポート、そして日本のオーケストラやオペラ、作曲家や演奏家の動向も紹介する姿勢は、まったく変わることがありません。

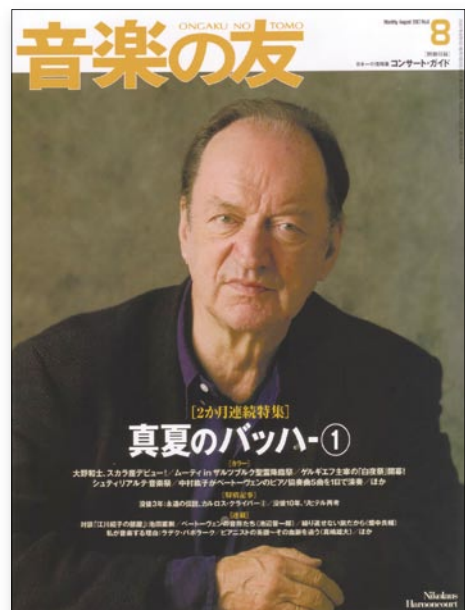
こうした読者と演奏家をつなぐ長い歴史によって、「音友」あるいは「友」というだけで本誌を示すほどに、日本の音楽界にその存在は深く浸透しています。

音楽の友 編集長



世界のアーティストが注目!

65年以上の歴史を誇る『音楽の友』、本誌のためだけに組まれたフォト・セッションから生まれる、写真家・三浦興一さんが撮影する表紙には、文字通り世界のトップ・アーティストが登場しています。最近では2008年1月号の表紙を飾った、ベルリン・フィルの首席指揮者、サイモン・ラトルの意外な表情は、音楽界の話題となりました。指揮者、ピアノやヴァイオリンなどの器楽奏者、そして声楽家……文字通り世界の頂点に君臨する大音楽家から日本の若手まで、『音楽の友』の表紙に登場することは、国内外の演奏家にとって、大きなステータスとなっています。



クラシック音楽を愉しむコアなファンへ

本物の確かな視点で、充実した読み物と情報を提供する

興味深いカラー・ページ

世界の音楽シーンの動向を端的に伝えるのが、毎号の巻頭カラー・ページ。華麗なオペラのステージ、躍動感あふれるオーケストラ、人気のソリストたち—本誌独自の取材記事やレポートなど、多角的な視点からの構成は、いつも音楽ファンのお話を呼んでいます。



次代を担うアーティストたち

現在、ピアニストのユンディ・リ、そしてヴァイオリニストの庄司紗矢香という、いま最も注目を集める世界的演奏家の連載を掲載しています。中国と日本から生まれた21世紀をリードするふたりの演奏活動に、『音楽の友』は注目しています。

自慢の連載

楽壇の重鎮、畑中良輔氏の半生記「繰り返せない旅だから」、そしていま最も多忙な作曲家、池辺晋一郎氏の「シューマンの音符たち」、さらに4月号から始まった、ウィーン・フィル・コンサートマスター、ライナー・キュッヒル氏による「キュッヒルの音楽手帳」など、自慢の連載記事が目白押しです。

日本の音楽シーンに欠かせない特集

毎年2月号の「コンサート・ベストテン」、9月号の「来日演奏家速報」といった恒例企画はもちろん、読者の求める情報を的確に提供し続ける毎号の特集記事は、つねに日本の音楽界で話題となっています。



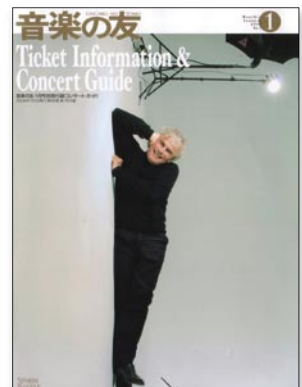
充実と信頼のレビュー

ほかの雑誌・新聞に比べて、はるかに充実した国内の演奏会批評「Concert Review」や「イヴェント・レポート」などのほか、「海外レポート」では、ドイツ、オーストリア、フランス、イギリス、アメリカ、ロシアから、現地の音楽界の動きを的確に伝えています。また、「Disc Selection」では、厳選したCDとDVDディスクを信頼できる筆者が紹介し、読者の購入のよき指針となっています。



他の追随を許さない「コンサート・ガイド」

毎号の別冊付録「コンサート・ガイド」は、ハンディなA5判。毎日持ち歩いても邪魔になりません。しかし、その中身は全国の演奏会情報がぎっしり。まったく他の追随を許しません。当月の演奏会の詳細だけでなく、これからの演奏会のチケット情報、さらに海外の演奏会情報まで掲載し、音楽ファン必携のものとなっています。

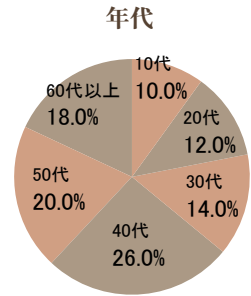


読者像

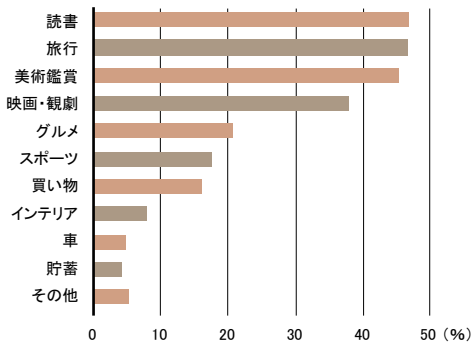
年齢層は40代以上が6割に達し、収入も読者の約半数の人たちが500万円以上で、余裕のある中高年が核となっていることがうかがえる。残りの4割は30代未満の世代で分け合い、専門誌の特徴でもある、世代が偏らず、幅広い読者に読まれていることが今回のアンケートでも明らかになった。10～20代の若い層を個別に見ていくと、愛

好家のほかに音大受験生が見られる。性別では、男性が女性をやや上回る。

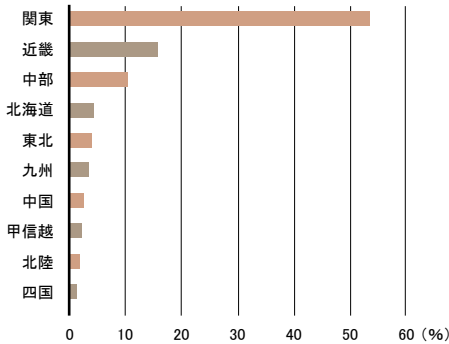
趣味は音楽以外にも、美術鑑賞や映画・演劇などの芸術に興味が高く、旅行という回答が多いことから、時間的あるいは経済的にゆとりがあり、本物のへのこだわりと投資を惜しまない、そして、記事をじっくり読む姿勢をもつ読者が多いと言える。



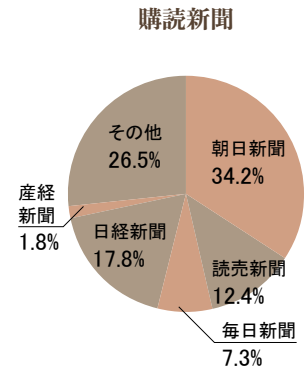
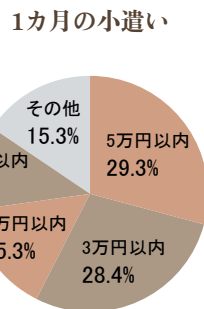
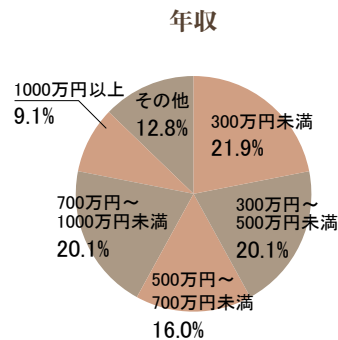
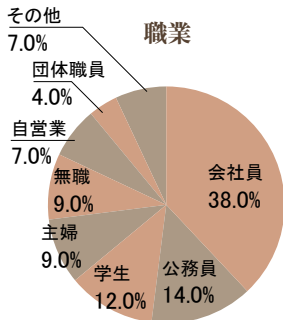
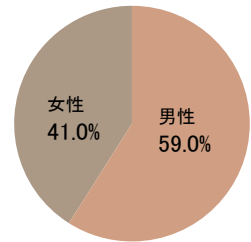
音楽以外の趣味



居住地域



性別

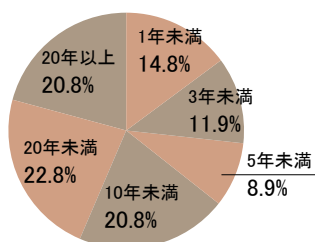


購読状況

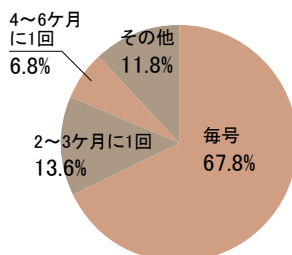
定期購読者が7割、10年以上の購読者が半数近いことから、特集内容に左右されことなく購読する、定着した読者像が見える。記事

の満足度は、80%以上の読者が9割を超し、本誌への信頼感や評価の高さが見てとれる。

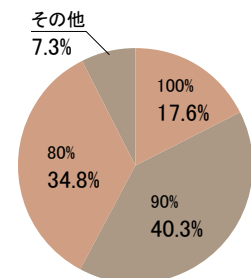
購読期間



購買頻度



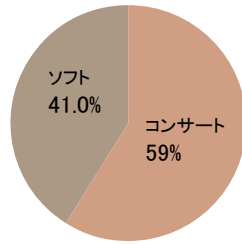
編集内容の満足度



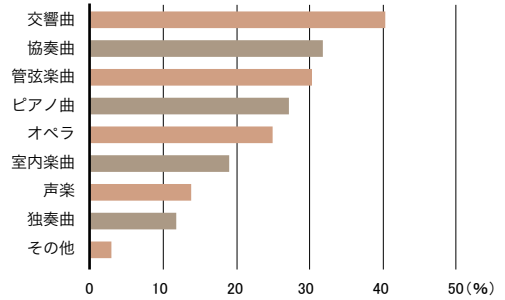
音楽の楽しみかた

コンサートに行く習慣を持つ層が中心であることに変わりはないが、音の品質が良く、そのうえ利便性が高いオーディオ機器により、自宅以外、移動中にも音楽を楽しむ読者が増えている。

音楽をコンサートで聴く割合とソフトで聴く割合は？



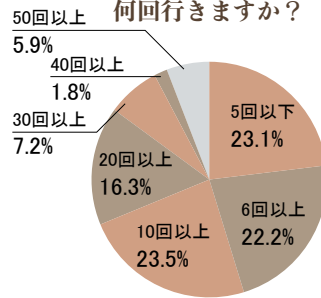
好きな音楽のジャンル



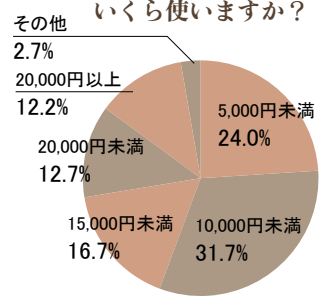
コンサートへの関心

前回調査と同様、回数の多少にかかわらず、90%以上の読者がコンサートに出かけている。年間回数で10回以上の方が約55%を占め、会場に行く習慣を持つ層が多く存在していることがわかる。また多くの読者が“本誌から情報を得る”と答え、掲載される最新のコンサート情報や、チケット発売情報に高い関心を示している。

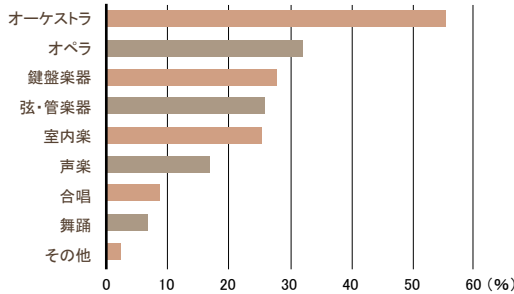
コンサートには年間何回行きますか？



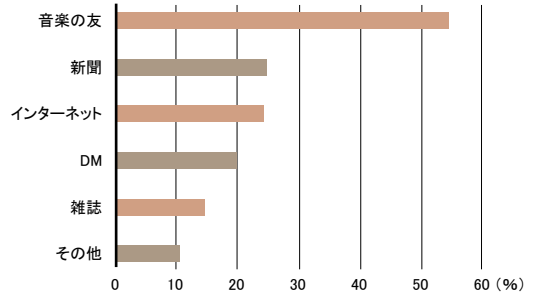
コンサートには月にいくら使いますか？



どんなコンサートに行きますか？



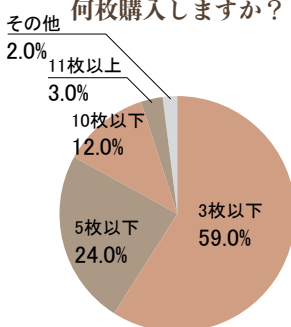
コンサート情報は何かから入手しますか？



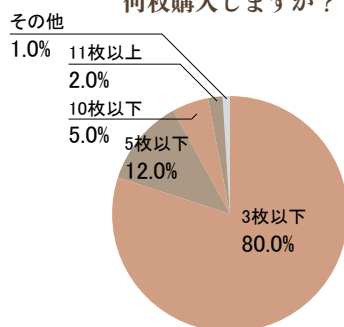
ソフト・AV機器への関心

本誌のCD（・DVD）評はもちろん、レビューからも情報を得、話題の演奏家のCD（・DVD）リリースには敏感に反応、購入につながっている。

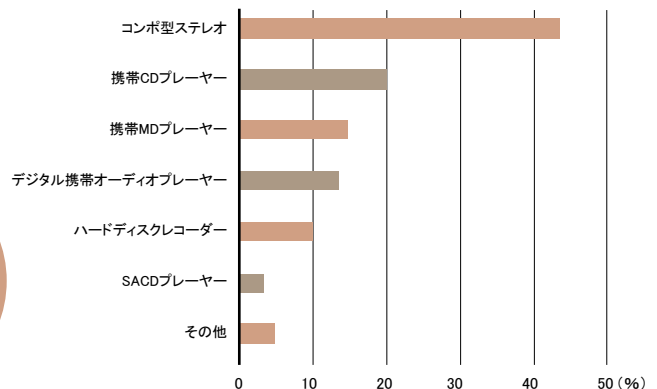
CDは月に平均何枚購入しますか？



DVDは月に平均何枚購入しますか？



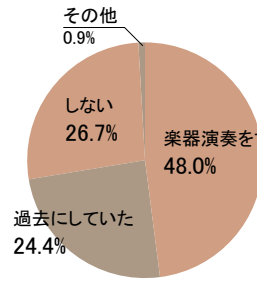
所有するAV機器は？



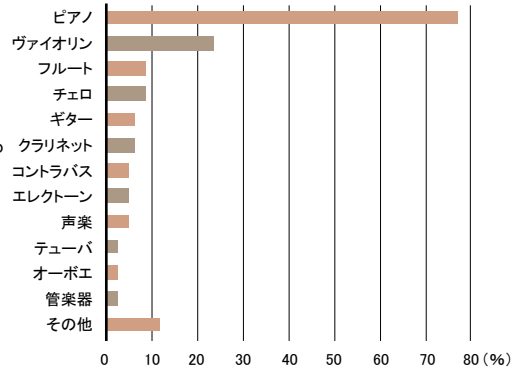
演奏活動について

楽器を演奏する人は全体の約半数。過去にしていた人を含めると全体の7割強になる。また、音楽教室へ通ってみたい人はすでに通っている人を含めると半数以上に達し、いずれの数字からも楽器への関心の高さがうかがえる。

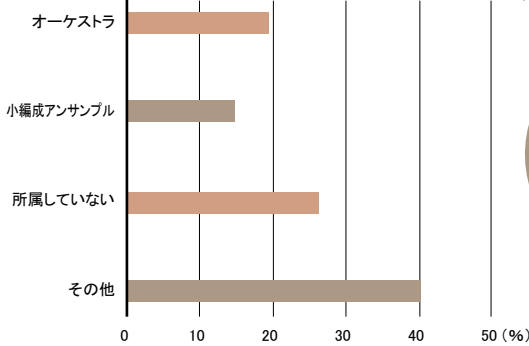
楽器を演奏しますか？



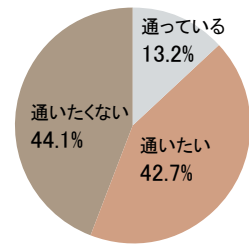
演奏する楽器は？



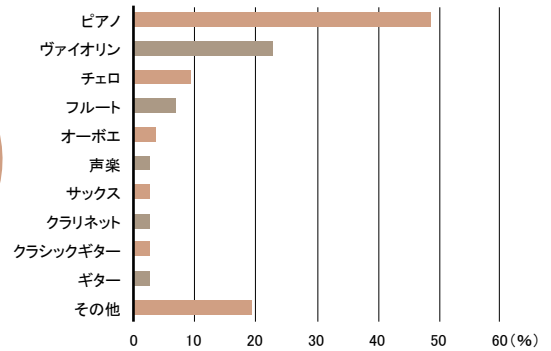
所属する演奏団体は？



音楽教室に通ってみたいですか？



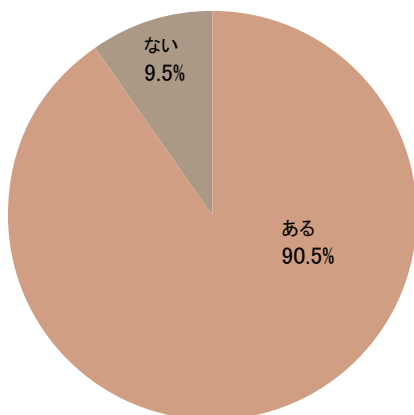
どの楽器を習いたいですか？



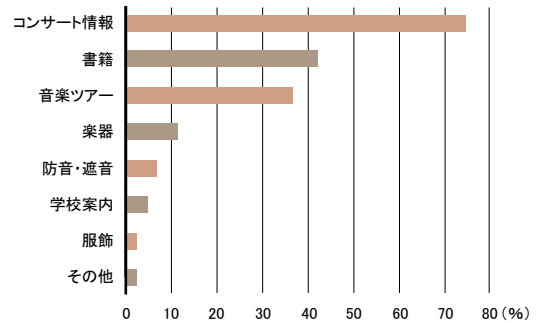
広告への関心

広告への関心度は非常に高く、コンサート情報は読者のほぼ全員がチケット購入の際の参考にしている。また書籍・音楽ツアー・楽器と続き、商品購入時に参考にする広告は幅広く、広告の役割と期待は大きい。

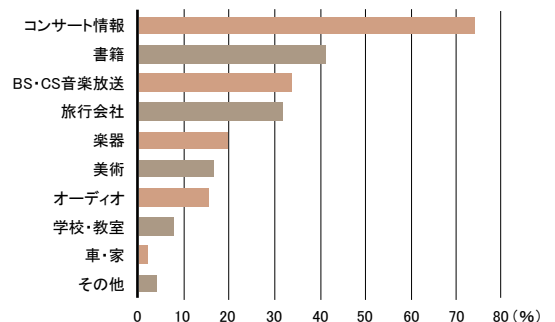
本誌に掲載された広告に関心がありますか？



商品購入時に参考にする広告は？



今後希望する広告は？



広告について

●お申し込み方法

広告掲載のお申し込みは、発売日の40日前になります。
各号の詳細な日程は、弊社Webサイトでご確認ください。

●入稿上の注意

- ◎広告原稿は、完全データでご入稿ください。
- ◎データ入稿の際は、データ仕様確認書と出力見本を必ず添付してください。
- ◎1/2p以下の原稿には、囲み罫をつけてください
- ◎以下の場合には別途料金をご請求することがあります。
 - ・写真点数が10点以上の場合
 - ・一度入稿した後に再入稿する場合
 - ・校正時に広告主の都合によるレイアウト指定、写真の変更
 - ・その他再製版の必要が生じた場合

●広告料金・サイズ(料金表)

掲載スペース	色数	天地×左右/mm	料金(税別)
表4	4C	257×200	¥770,000
表2	4C	277×210	¥620,000
表3	4C	277×210	¥550,000
目次 1p	4C	277×210	¥550,000
コート紙 1p	4C	277×210	¥520,000
コート紙 1p	1C	277×210	¥270,000
コート紙 1/2p	1C	119×180	¥160,000
上質色紙 1/3p	1C	74×180	¥80,000
上質色紙 1/4p	1C	114×87	¥65,000
上質色紙 1/6p	1C	74×87	¥42,000
上質色紙 1/8p	1C	54×87	¥35,000
付録 表4	4C	210×148	¥350,000
付録 表3	4C	210×148	¥312,000
付録 表2	4C	210×148	¥312,000
演奏会・公演等一覧	1C	40×87(写真19×16)	¥25,000(写真1点 ¥1,000)
ハガキ	1C×1C	—	¥500,000

●広告掲載に関するお問い合わせ・お申し込み

株式会社音楽之友社 編集部広告課

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30 Tel.03-3235-2131 Fax.03-3235-2212

<http://www.ongakunotomo.co.jp/>